

2020年12月3日

厚生労働省

保険局長 濱谷 浩樹 様

一般社団法人 日本医薬品登録販売者協会

会長 樋口俊一

## セルフメディケーションの適正な推進のため 登録販売者、店舗販売業の活用に関する要望書

貴局におかれましてはOTC類似薬等に関わる給付と負担の見直しについて、日々、大変なご苦勞をされていることとお察し申し上げ、心より敬意を表します。

当協会においても、薬剤自己負担の見直しについては、かねてよりその動向を注視し、いよいよ「改革工程表2019」に基づき、実施に向けた論議が本格化していると認識しているところです。

当協会は適正なセルフメディケーションの推進を図るために、毎年12時間以上の登録販売者の資質向上に努めているところです。

つきましては、セルフメディケーションの適正な推進を図るために下記の通り要望致します。ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

—記—

1. 11月12日開催の医療保険部会で提出されました「セルフメディケーションの推進に際して取り組むべき事項」(別紙参照)中、セルフメディケーションとして「自己対処」と「健康サポート薬局 かかりつけ薬剤師・薬局」が明記されていますが、「登録販売者、店舗販売業」も追加して頂くようお願い致します。
2. 今後、セルフメディケーションの適正な推進に関わる資料等の作成においては、「登録販売者、店舗販売業」を追加して頂くよう要望致します。

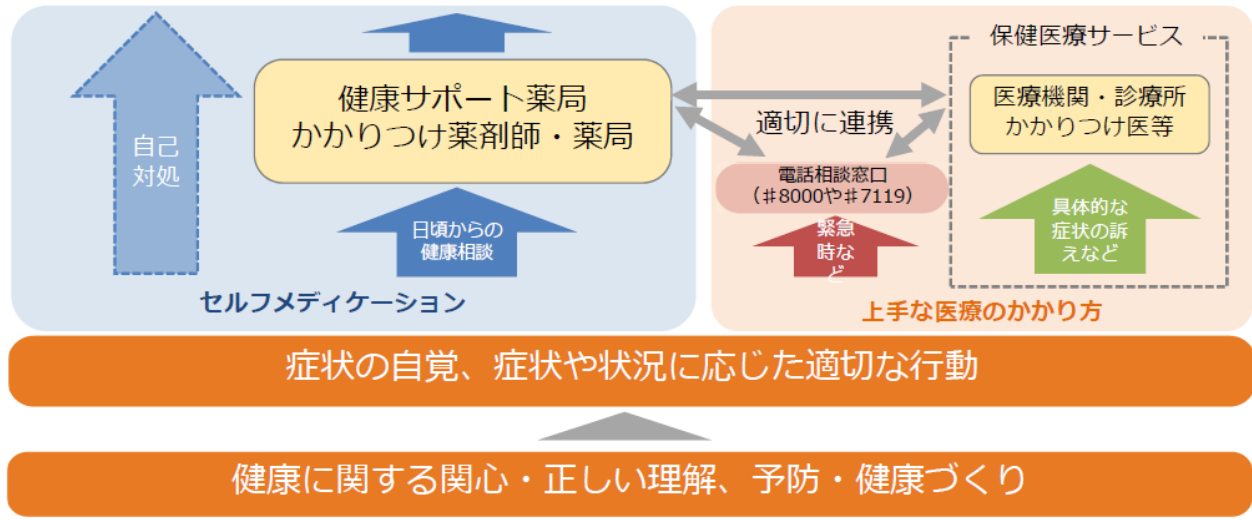
以上

〈参考〉リクス分類別市場規模は要指導医薬品0.3%、第1類医薬品4.9%、第2類医薬品63.4%、第3類医薬品31.4%で、要指導薬・一般用医薬品の約95%は登録販売者が中心に販売している第2類・第3類医薬品で占められています(2016年、「矢野経済」調べ)。従って、セルフメディケーションを推進するためには登録販売者が欠かせません。登録販売者の意気を高め、資質をより向上させる上でも、セルフメディケーション推進に関わる資料等の作成にあたっては登録販売者、店舗販売業を入れて頂きますようお願い申し上げます。

## セルフメディケーションの推進に際して取り組むべき事項

- セルフメディケーションを進める前提として、①国民のリテラシー向上に向けた環境整備（予防・健康づくりの推進、上手な医療のかかり方の普及等）、②OTC薬の適切な選択・使用に関する助言を含む国民からの相談体制の構築（健康サポート薬局やかかりつけ薬局・薬剤師の普及促進等）が重要。
- その上で、OTC薬の選択肢の幅を広げるためのスイッチOTCの推進や更なる経済的インセンティブの付与（セルフメディケーション税制の延長・拡充等）などを考えていく必要。

## OTC薬の適切な使用



## 医療用医薬品を処方された場合とOTC薬を購入した場合の比較

	医療用医薬品を処方された場合					OTC薬を購入した場合
	薬剤費※1	その他の医療費※2	医療費の合計	患者自己負担額 (3割負担)	保険者の負担額	OTC価格※3
花粉症薬 (フェキソフェナジン 60mg 14日分)	420～ 1,400	5,670	6,090～ 7,070	1,830～ 2,142	4,270～ 4,998	565～ 2,075
漢方薬(感冒) (葛根湯(顆粒)※4 4日分)	160～ 240	5,670	5,830～ 5,910	1,755～ 1,776	4,095～ 4,144	657～ 1,980
湿布薬 (ロキソプロフェン50mg 14枚)	170～ 290	5,220	5,390～ 5,510	1,617～ 1,653	3,773～ 3,857	1,730～ 1,737
保湿剤 (ヘパリン類似物質0.3% 50g(1本))	220～ 1,080	5,220	5,440～ 6,300	1,632～ 1,890	3,808～ 4,410	1,134～ 2,494

保険者がヘルスケアポイント(例えば1,000円分)を付与する場合、その分負担は減少する。

- ※1 複数銘柄がある場合は最も薬価の安いものと最も高いものを記載(薬価は令和2年4月時点のもの)。薬剤費は診療報酬点数として算定した場合の費用を記載。
- ※2 初診料(288点)、処方箋料(68点)、調剤基本料(42点)、薬剤服用歴管理指導料(57点)、調剤料(処方日数に対応した点数)、後発医薬品調剤体制加算2(22点)を算定したケースで算出。
- ※3 OTC薬は購入先やメーカーの違い(ブランド品、それ以外)によって価格は大きく異なる。確認できた範囲における最安値からメーカー希望小売価格までの範囲を記載。
- ※4 葛根湯(顆粒)の場合、OTC薬は医療用医薬品に比べて、1/4～1/3程度成分の含量が少ない場合がある。